

平成 30 年度第 2 回千葉市稲毛区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成 31 年 3 月 22 日(金) 午後 2 時～午後 4 時

2 場 所 小中台公民館(講堂)

3 出 席 稲毛区公民館運営審議会委員(12 名)

青柳 典子委員、小林 巧委員、周東 ひさ子委員、
川島 義美委員、前島 正明委員、中村 幹夫委員、
森脇 清委員、高階 光義委員、溜 昭代委員、
井上 美穂子委員、菊池 まり委員、依田 佳子委員、
城 久委員(欠席)、渡邊 博典委員(欠席)

(事務局 14 名)

生涯学習振興課 田島課長補佐、柴崎主査、石毛主査補
小中台公民館 金谷館長、伊原副館長、召田主事(記録)
黒砂公民館 小口館長、轟公民館 鈴木館長、
稲毛公民館 大岩館長、千草台公民館 小野館長、
草野公民館 瀧澤館長、山王公民館 永井館長、
都賀公民館 平野館長 緑が丘公民館 安河内館長
傍聴人無し

4 議 題

(1) 報告事項

- ア 平成 30 年度公民館利用状況について(1 月末現在)
- イ 平成 30 年度公民館事業報告について(1 月末現在)

(2) 協議事項

- ア 平成 31 年度公民館事業計画について

(3) 報告事項

- ア 千葉市公民館設置管理条例の一部改正について

5 議事概要

(1) 報告事項

- ア 平成 30 年度公民館利用状況について事務局より報告した。
- イ 平成 30 年度公民館事業報告について事務局より報告した。

(2) 協議事項

ア 平成31年度公民館事業計画について事務局より提案し、承認された。

(3) 報告事項

ア 千葉市公民館設置管理条例の一部改正について事務局より報告した。

6 会議経過

・開会

・稲毛区公民館運営審議会委員長挨拶

・生涯学習振興課挨拶

・議題

(1) 報告事項

ア 平成30年度公民館利用状況について（1月末現在）

会議資料に基づいて稲毛区全体の利用状況について説明した。また、稲毛区公民館図書室の整備状況、貸し出し状況について説明した。

井上委員 都賀公民館は著しく新規購入図書が多いですが、予算が多かったなど特別な理由はありますか。

平野館長 利用減や古い図書の廃棄を進めており、それに伴って多くの新規図書を購入した経緯があります。また、予算の追加もあり、購入を進めることができました。

イ 平成30年度事業報告について（1月末現在）

会議資料に基づいて各館長より説明した。

(2) 協議事項

ア 平成31年度公民館事業計画について

会議資料に基づいて各館長より説明した。

川島委員 小中台公民館と都賀公民館は文化祭が隔年の実施とのことですが、

2年に1回のメリットとデメリットはどのようなものですか。

金谷館長 クラブ連絡協議会が主催しておりますので、実施の頻度は相談して決めています。今後、ミニ発表会的なことも検討したいと思えます。轟公民館も含めていくつかの館が隔年実施です。

青柳委員長 毎年やっているところは黒砂公民館、稲毛公民館、千草台公民館、山王公民館、緑が丘公民館の5館ですか。

平野館長 都賀公民館では、クラブ連絡協議会発足時より隔年で開催しています。毎年となると人的にも経済的にも厳しいと思えます。

前島委員 小中台公民館、都賀公民館の方にお答えをいただいたが、私も8年の間公民館に関わっており、草野公民館も2年に1回の文化祭です。成果発表やデモンストレーションをする機会が1~3日あるとよいです。クラブ連絡協議会と地域とが連携して実施するのが望ましいでしょう。どの回数が適切か、地域の実態により回数も変わってくるでしょう
稲毛公民館では23名の書初め参加者にきめ細かな指導は難しいとのことでしたが、具体的な苦勞についてお話を聞かせてください。

大岩館長 2時間の設定の中では全員の手を取って教えることができず、対応しきれませんでした。

前島委員 対応人数が十分でなかったということでしょうか。保護者の協力など助っ人を頼んでみたらいかがですか。協力してくれる方はいると思えます。

菊池委員 緑が丘公民館では、地域団体と協力して事業を計画しているという事例はありますが、他の館ではどうでしょうか。また、生涯学習振興課が市民活動支援センターに登録している団体に対し、公民館で事業をしてみないかと声をかけたと聞いていますが、その後、事業を計画した館はありますか。

永井館長 運営懇談会でご意見を頂き、AEDについて事業化しました。また、たい肥作りも評判が良かったので採用しました。

- 金谷館長 小中台ではクリスマスコンサートや新春凧揚げ大会など、地域と連携した事業を実施しています。
- 田島補佐 市民活動支援センターの登録団体に声掛けを行い、登録団体よりご提案いただいた事業について教育振興財団に情報提供しました。稲毛公民館の事業計画 24 番の「千葉氏の歴史に関する普及講座」などが事業化した例です。
- 井上委員 小中台公民館の主催事業で「勾玉作り」が好評で応募がかなり多かったようです。新年度も同人数で募集するようですが、30 年度に参加できなかった子どもを優先するのでしょうか。
- 金谷館長 大変女子に人気の講座です。埋蔵文化財調査センターと調整して定員を増やすことも考えていますが、今年度はこの人数で実施したいと考えています。穴開けや、やすりの使用などで多少危険も伴いますのでこの形で実施します。
- 井上委員 人気ですよ。わかりました。
- 川島委員 昔、稲毛や黒砂の海岸でノリの養殖をやっていましたが、子ども達に歴史を伝えるという意味で、沿岸部の稲毛公民館や黒砂公民館で子ども向けの事業を計画したらどうでしょうか。資料等がありますか。
- 小口館長 黒砂公民館内で資料を展示しております。また、毎年、緑町小学校の 6 年生に地域の歴史について学習する機会を提供しています。具体的にノリの養殖については参考にしたいと思います。
- 溜委員 地域の歴史として、開拓団があったそうです。稲毛区の公民館各館で地元の歴史を勉強できる講座を催したらどうですか。まだ仮の計画と思いますが、現代は P R の時代です。面白い事業名でアピールをしたらいかがですか。「もう一度小学生になろう」は面白そうですね。道徳など、どう評価するのか楽しみです。
- 小野館長 溜先生のご指導をいただけたらありがたいです。

川島委員 草野水路に、かつて鯉を放流していて、かなり大きくなっていましたが、現在は見られません。魚（生き物）は人間教育に良い影響を与えたいと思います。生き物を大切する心を育てる教育を実施したらどうでしょう。なぜ鯉がいなくなったかを考えさせたらどうでしょう。

青柳委員長 昔は魚がたくさんいましたよね。

溜委員 昔、水路を守る会というのがありました。地域の歴史を学ぶ中で草野水路について学習する機会を設けてはどうでしょう。

青柳委員長 ありがとうございます。

高階委員 最近ではスマホがメインで、パソコン講座をやってもその時限りのような気がします。参加者の持っているパソコンと生涯学習センターのパソコンは違うのではないのでしょうか。来年度からスマホ講座をメインにしたらどうでしょう。今のままでは目的がないような気がします。

金谷館長 パソコン講座は生涯学習センターで一斉準備してくれます。人によって丁度良い人もいれば簡単すぎる人もいます。レベル分けができればよいので生涯学習センターと調整してまいります。スマホ講座もすべて機材を持ってきてくれます。本当に基礎をやってもらっています。

前島委員 教育振興財団の指定管理になっての1年間に感じたことを申し上げたいと思います。一つは年度を通して職員の気持ちが大変変わったと思います。安全に配慮してたくさん修繕をしてくださいました。公民館職員も壁を工夫してくれています。9館の皆さん全員の雰囲気が変わってきています。各館長、スタッフが一生懸命やっているのを感じます。

今後とも一緒にやっていきましょう。

(3) 報告事項

ア 千葉市公民館設置管理条例の一部改正について

会議資料に基づいて説明した。

川島委員 公会堂と公民館では何が違うのですか。

田島補佐 市民会館等についても一定の使用制限があるものと考えておりますが、公民館は社会教育法に基づく施設であり、同法による使用制限がかかっていることから、一般的な公会堂よりも広く制限がかかっているものと考えます。

川島委員 それでは集会所との違いは何が違うのですか。

田島補佐 集会所というのは、町内自治会が所有しているような施設という理解でよろしいでしょうか。そのような集会所につきましては、公共施設として本市が設置している公民館とは違い、使用方法は各町内自治会の規約等で定められているため、まちまちであると思われます。

高階委員 条例の附則に平成31年10月1日とありますが、5月になって改元されたら、また条例を改正するのですか。

田島補佐 改元の際に、再度、条例を改正することはございません。新たな元号がわからない状況ですので、このような形になっておりますが、改元後は、新たな元号に読み替えることとなります。

青柳委員長 たくさんの貴重なご意見、ありがとうございました。以上で本日の審議を終了いたします。

閉会

【問い合わせ先】
生涯学習振興課
TEL043-245-5954